

事業名		図書館活動の充実					評価実施者		所 属		社会教育課図書館																																																																																																																															
							職・氏名		副館長 中寺静江																																																																																																																																	
主要事業の概要	開始年度	S48	根拠法令等 滝川市図書館条例、施行規則、新業務提要					特定財源																																																																																																																																		
	実施方法	☒ 直接 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔 〕																																																																																																																																								
	目 的	利用者ニーズの把握や課題解決に役立てる図書・資料の充実に取り組み、読書への関心や意欲を高め、生涯にわたる読書の習慣化を目指して、読書普及事業を推進とともに、市民に親しまれ、活用される図書館として利用者サービスの向上と生涯学習活動の拠点として市民ボランティアとの協働を図る。																																																																																																																																								
	事業内容	祝日開館、開館時間延長、インターネットコーナー設置、市民と協働した図書館ボランティア活動・読書週間事業・子ども読書週間特別行事、絵本のおはなし会(妊婦、乳幼児健診時)、絵本のおはなし会「たまてばこ」(月4回)、巡回文庫、図書コーナー(8ヶ所)、なかそらち図書館ネットワーク推進事業																																																																																																																																								
事業コスト	区 分	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	特 記 事 項																																																																																																																																			
	事業費(A)	15,026	14,610	17,297	16,507	16,802	人件費(H20) 職員5名、嘱託4名、臨時職員3名、(H21)職員5名(内1名兼務)、嘱託4名、臨時3名 *事業費は、全経常経費 ※単位:千円																																																																																																																																			
	うち一般財源	15,026	14,610	17,297	16,507	16,802																																																																																																																																				
	人件費(B)	50,057	47,416	53,145	51,749	54,213																																																																																																																																				
	総コスト(A)+(B)	65,083	62,026	70,442	68,256	71,015																																																																																																																																				
実績と成果	区 分		単位	H17	H18	H19	H20	H21	左記以外の20年度の実績・成果																																																																																																																																	
	事業の実績(アウトプット)	1 蔵書数	冊	119,405	123,494	118,776	122,348		インターネット利用者～(H20)1386人(H19)1068人、(H18)716人																																																																																																																																	
		2 入館者数(本館・コーナー)	人	50,800	46,491	44,627	42,606	—																																																																																																																																		
		3 おはなし会等実施数	回	95	99	95	89																																																																																																																																			
	事業の成果(アウトカム)	1 貸出冊数	冊	132,746	144,196	141,036	146,260																																																																																																																																			
		2 おはなし会等参加者	人	5,555	4,447	4,414	4,364	—																																																																																																																																		
		3																																																																																																																																								
<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>点数</th> <th colspan="11">判 定 及 び 説 明 ・ 考 察</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">1 適応性 有効性</td> <td rowspan="3">9</td> <td colspan="11">①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ☐ 5 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1</td> </tr> <tr> <td colspan="11">②事業の目的に照らして効果的な手法か。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1</td> </tr> <tr> <td colspan="11">市民ニーズとして祝日開館、開館時間延長など利用しやすい環境づくりや多様化する課題解決に役立つ図書、資料の収集・提供をはじめインターネットを設置し、情報収集が容易にできるよう利用者サービスに努めている。ボランティア活動では、生涯学習活動の拠点として図書館事業を協働して実施できるよう人材の育成等に取り組んでいる。また、読書普及として利用者の読書意欲を高められるよう、特別行事の実施や展示、特設コーナーの設置、本との出会いのきっかけとなるよう乳幼児期からのおはなし会の実施や子どもの適齢に合わせた図書の紹介、貸出などを実施し、本と親しむ機会をつくり、生涯にわたる読書へのきっかけとなるよう取り組んでいる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2 目標 達成度</td> <td rowspan="2">10</td> <td colspan="11">③目標の水準は適切か。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1</td> </tr> <tr> <td colspan="11">④計画通りに目標を達成できたか。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1</td> </tr> <tr> <td colspan="13">生涯にわたる読書の習慣化が大きな目標であり、その年代に合わせた読書環境を整え、読書へのきっかけづくりができるよう取り組んでいる。おはなし会の参加者、児童書の貸出数も増加していることなどの成果が出ている。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3 経済性</td> <td rowspan="2">4</td> <td colspan="11">⑤コストは縮減しているか。 ☐ 5 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1</td> </tr> <tr> <td colspan="11">現図書館の環境等の現状とコスト削減も視野に入れ、創意工夫したサービスが提供できるよう、事業を実施している。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総合評価</td> <td>合計</td> <td>23</td> <td rowspan="2">ランク (A～E)</td> <td rowspan="2">上記評価を踏まえた事業の課題</td> <td colspan="9" rowspan="2"> 利用の促進を図るための資料・図書等の充実、貸出、蔵書検索等の電算化システムの導入、図書館ボランティア活動の活性化 ☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持 </td> </tr> <tr> <td>100点換算</td> <td>92</td> <td>A</td> </tr> </table>													評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察											1 適応性 有効性	9	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ☐ 5 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1											②事業の目的に照らして効果的な手法か。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1											市民ニーズとして祝日開館、開館時間延長など利用しやすい環境づくりや多様化する課題解決に役立つ図書、資料の収集・提供をはじめインターネットを設置し、情報収集が容易にできるよう利用者サービスに努めている。ボランティア活動では、生涯学習活動の拠点として図書館事業を協働して実施できるよう人材の育成等に取り組んでいる。また、読書普及として利用者の読書意欲を高められるよう、特別行事の実施や展示、特設コーナーの設置、本との出会いのきっかけとなるよう乳幼児期からのおはなし会の実施や子どもの適齢に合わせた図書の紹介、貸出などを実施し、本と親しむ機会をつくり、生涯にわたる読書へのきっかけとなるよう取り組んでいる。											2 目標 達成度	10	③目標の水準は適切か。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1											④計画通りに目標を達成できたか。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1											生涯にわたる読書の習慣化が大きな目標であり、その年代に合わせた読書環境を整え、読書へのきっかけづくりができるよう取り組んでいる。おはなし会の参加者、児童書の貸出数も増加していることなどの成果が出ている。													3 経済性	4	⑤コストは縮減しているか。 ☐ 5 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1											現図書館の環境等の現状とコスト削減も視野に入れ、創意工夫したサービスが提供できるよう、事業を実施している。											総合評価	合計	23	ランク (A～E)	上記評価を踏まえた事業の課題	利用の促進を図るための資料・図書等の充実、貸出、蔵書検索等の電算化システムの導入、図書館ボランティア活動の活性化 ☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持									100点換算	92	A
評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察																																																																																																																																								
1 適応性 有効性	9	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ☐ 5 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1																																																																																																																																								
		②事業の目的に照らして効果的な手法か。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1																																																																																																																																								
		市民ニーズとして祝日開館、開館時間延長など利用しやすい環境づくりや多様化する課題解決に役立つ図書、資料の収集・提供をはじめインターネットを設置し、情報収集が容易にできるよう利用者サービスに努めている。ボランティア活動では、生涯学習活動の拠点として図書館事業を協働して実施できるよう人材の育成等に取り組んでいる。また、読書普及として利用者の読書意欲を高められるよう、特別行事の実施や展示、特設コーナーの設置、本との出会いのきっかけとなるよう乳幼児期からのおはなし会の実施や子どもの適齢に合わせた図書の紹介、貸出などを実施し、本と親しむ機会をつくり、生涯にわたる読書へのきっかけとなるよう取り組んでいる。																																																																																																																																								
2 目標 達成度	10	③目標の水準は適切か。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1																																																																																																																																								
		④計画通りに目標を達成できたか。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1																																																																																																																																								
生涯にわたる読書の習慣化が大きな目標であり、その年代に合わせた読書環境を整え、読書へのきっかけづくりができるよう取り組んでいる。おはなし会の参加者、児童書の貸出数も増加していることなどの成果が出ている。																																																																																																																																										
3 経済性	4	⑤コストは縮減しているか。 ☐ 5 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1																																																																																																																																								
		現図書館の環境等の現状とコスト削減も視野に入れ、創意工夫したサービスが提供できるよう、事業を実施している。																																																																																																																																								
総合評価	合計	23	ランク (A～E)	上記評価を踏まえた事業の課題	利用の促進を図るための資料・図書等の充実、貸出、蔵書検索等の電算化システムの導入、図書館ボランティア活動の活性化 ☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持																																																																																																																																					
	100点換算	92												A																																																																																																																												

【評価点数】

5 : 十分にできている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
 B : 71～85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
 C : 56～70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
 D : 41～55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
 E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判 定					点検・評価に関するコメント	
1 適応性 有効性	9	①	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	多くの事業を実施していることがよくわかる。資料として貸出冊数等の推移がわかるものが添付されると良い。
		②	☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
2 目標 達成度	10	③	☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
		④	☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
3 経済性	4	⑤	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
		合計	23	100点換算	92	ランク	A	
			/25	/100				